

(第2号様式)

那商第2691号
令和8年3月13日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立那覇商業高等学校
校長 新里 彰久
(公印省略)

令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	令和7年7月9日	本校会議室	学校評議員4名、校長、教頭3名、事務長、各部主任5名、学科主任1名、養護教諭1名
第2回	令和7年12月11日	本校会議室	学校評議員4名、校長、教頭3名、事務長、各部主任5名、学科主任1名
第3回	令和8年2月18日	本校会議室	学校評議員3名、校長、教頭3名、事務長、各部主任5名、学科主任1名

2 学校評議員に求めた事項

- (1) 学校経営方針等について
- (2) 全日制課程及び定時制課程の教育活動状況について
 - ① 全日制: 教務部、進路指導部、生徒指導部、商業科の取り組み、保健室・教育相談室利用状況
 - ② 定時制: 学校行事、学籍状況、進路指導部、保健室・教育相談の利用状況、学校評価表、成果と課題
- (3) 本校生徒の授業の様子、新聞記事による活躍の様子

3 学校評議員の意見

- ・進路決定率が若干低下している点について、生徒が安易に妥協せず「高い目標」に挑戦し続けている結果(3月まで継続指導)であるとの説明に対し、理解が示された。
- ・若年層における大麻等の蔓延を受け、警察と連携した啓発活動の継続と、生徒への強い注意喚起が求められた。
- ・全国的にも教職の多忙化や精神的負担が問題となる中、生徒のケアだけでなく先生方自身のメンタルヘル

4 学校運営に反映した事項

- ・校長による進路講話や進路部主導の小論文講座の充実、さらに面接の模擬練習を実施したことで、生徒の高いレベルの進学先・就職先への意識が高まり、合格実績が飛躍的に向上した。
- ・高大連携事業の締結等、学習環境が整備されたことで、高度資格取得者が大幅に増えた。
- ・サイバー犯罪の現状や薬物使用の危険性や依存性を理解する全校生徒対象の講話を実施した。
- ・今年度より特別日課の日数を増やしたことで、教職員の個人裁量の時間が拡充され、長時間在校勤務者が減少した。さらに、次年度は特別日課をもう1日増やすことが職員会議にて決定した。

5 課題その他

- ・本校は進学実績の向上や専門資格の取得において大きな成果を上げている。今後は、生徒の満足度を維持しつつ、保護者や地域社会に対してこれらの成果と学校の現状をより積極的に発信し、相互理解を深めることが期待される。